

## 令和5年度第1回山縣市公共交通会議 議事録

日 時 令和5年6月22日（木）午前10時00分～

場 所 山縣市役所3階 大会議室

### 会長挨拶

○会長：ここ数年はコロナ禍の影響で、公共交通の利用者が激減しています。今年の5月8日からコロナは5類に移行したこともあり、市民が外出しやすいような公共交通の在り方を検討していく必要があります。今回は公共交通計画を作る重要な年であるため、様々な意見をいただきながらよい計画を作っていきたいと思っています。

市民の中には、岐阜バスの車両で運行されている自主運行バスを岐阜バスの路線バスとして認識されている方も多く、自主運行バスの認知度が低い状況です。

車を運転できなくなったらバスに乗るという方もいますが、一般的には車を運転できなくなったときにはバスに乗ることも難しいため、若いうちからバスに乗る習慣を付けてほしいと啓発する必要があると感じており、市民が当事者意識を持ち、市民を巻き込んだ計画を作る必要があります。

山口市は今年の3月31日で合併20周年を迎えました。今年は過去の20年を振り返りつつ、将来の20年を見据える年にし、市民がフランクに振り返られるイベントを企画しています。

○副会長A：山口市は自転車でときどき走りますが、自然の豊かなところだと感じる一方、公共交通を整備しようと思うと大変な地域であるとも感じています。公共交通がよいものになるように皆様と議論していきたいと思えます。

### 協議事項1 令和4年度決算について

○事務局：(資料1の説明)

○会長：この件について、ご承認いただけますか。

○委員：(異議なし)

### 協議事項2 令和5年度予算(案)について

○事務局：(資料2の説明)

○会長：この件について、ご承認いただけますか。

○委員：(異議なし)

### 協議事項3 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

○事務局：(資料3の説明)

○会長：この件について、ご承認いただけますか。

○委員：(異議なし)

### 協議事項4 市町村運営有償運送(市町村福祉輸送)の更新について

○事務局：(資料4の説明)

○委員A：福祉有償運送の自家用車で大きな事故があったという報告も聞いていないので、引き続き運送の安全第一を考えて、運行・車両管理を行っていただきたいと思います。

○会長：この件について、ご承認いただけますか。

○委員：(異議なし)

### 協議事項5 山口市地域公共交通計画の骨子案について

○事務局：(資料5の説明)

○委員B：我々の業界では公共交通の維持が困難になりつつあります。現在運転手不足が問題で、2024年問題によりトラックの運転手不足の理解や改善の動きがありますが、バスも同様の問題を抱えています。バスの運転手に外国人運転手の雇用を考える時期に入っており、法の整備も進められています。広告やハローワークへの求人、紹介金の引き上げを行っても集まらない状況です。

運転手の課題に「運転手不足を見据え、需要に合わせた効率的な運行サービスの提供、目標の幹線バス路線の維持」とありますが、そこに運転者不足の対策を加えてほしいと思います。運転者不足によるサービスの減少が考えられ、運転手の休息時間が8時間から9時間に変更になることから便数の減少なども考えられます。高齢化が進み、運転手を確保したいけどできないような状況にならないよ

うに皆様と議論して対策を考えていきたいと思えます。

- 会長：運転手不足は運送業界、介護送迎などで苦勞しており、運転手の奪い合いが起こっては公共交通にとって良くないと思っています。運転者不足の対策を計画にも加えたいとのご指摘いただきましたが、どうお考えですか。
- 事務局：今運行しているバス路線の事業者の中でも高齢化で悩んでいる方もおり、事務局で運転手不足が深刻化すると認識しているので、計画の中に加えることを検討します。
- 会長：岐阜市で自動運転の取り組みがあったと思えますが、そちらはどのような状況ですか？
- 副会長 A：1年目はゴルフカートのような車両で金公園を走行する実験を行い、2年目ではポンチョで、昨年度と一昨年度ではフランス製の自動運転専用車両で実験が行われています。課題も見えましたが、8割ぐらいは自動で運転できていました。秋からは、5年間毎日岐阜公園から岐阜駅までを運行し、皆さんに慣れていただき、抵抗をなくしてもらおう目的で実施していく予定となっています。
- 副会長 A：現行計画の評価については、どのように考えていますか。
- 事務局：現行計画の評価は今後実施し、次回以降の会議で説明する予定です。
- 副会長 A：今回の調査で住民アンケートはないようですが、新しい需要の掘り起こしをする上で使われていない方の意見は重要だと思えますが、どの様に実施される予定ですか。
- 事務局：前回全体アンケートを取った際は、「わからない」の回答が多かったため、今回は実際利用される方の意見を聴くことを重点とし、今後山県市に住み続け使っていただく方として中学生保護者や高校生に絞ってアンケートを実施しました。
- 副会長 A：人数は少なくとも意見を持った住民もいると考えられるため、ワークショップなど地域の方と意見を交換する場があるとよいと思えます。
- 事務局：7～9月にかけて行う「地域関係者との協議」の中で、地域の方々と意見交換も含め協議したいと考えています。
- 会長：この件について、ご承認いただけますか。

○委員：(異議なし)

## 報告事項 1 前回からの経過報告

○事務局：(資料6の説明)

○委員C：資料1ページの令和5年5月24日の補助金メニューとは計画策定支援の事ですか。

○事務局：資料5-1の山縣市地域公共交通計画の策定に対する補助決定をいただいています。

○会長：バスの乗り方が分からない人も多く、乗るのに勇気がいるので、若いうちから乗り慣れるような企画をやっていけたらと考えています。

岐阜バスではI Cカードの統一化の取り組みがあったと思いましたが、どのような状況ですか。

○委員D：I Cカードについては現在機械の構築などを行っており、今年度の3月頃の導入を目指しています。

○会長：現在の ayuca は利用できなくなるのですか。

○委員D：全国交通系I Cカードの片利用を予定しており、定期券は引き続き ayuca を使うこととなります。定期券については、システムの構築に2年程度かかるため、時間を要することをご理解いただきたいと思います。また乗務員不足が深刻化や安全運行のために設備投資に力を入れておりますが、その中で運賃改定を予定しているため、近々発表させていただきます。

○委員E：岐阜バスを利用した際に、運転手の運転が丁寧で、親切に声かけをされていて安心して快適に乗れました。自動運転や外国人運転手が導入されるとどうなるか不安です。

○委員B：現在運転手不足が非常に厳しい状況になったので、今後外国人雇用について考えようという段階であり、すぐに外国人が雇用されるわけではありません。運転手の質は今までの事業者の努力で積み上げられてきたものであり、導入後には外国人運転手にそのような心意気を教え込んでいかないといけないと考えています。

○会長：気持ちよく乗ってもらうために運転手と市民の方々がお互いに「ありがとう」と言い合えるようないい方向に進み、乗るだけでなく楽しい空間になっていくといいと思っています。

#### **その他 次回の開催について**

○事務局：次回は11月下旬を予定しています。

#### **閉会挨拶**

○副会長A：今年度の事業について、予定に記載されている以外にもさまざまな事業に取り組まれると思いますので、会議の中で事業計画についても議論ができるとよいと思いました。山州市の公共交通の現状・改善案なども含めて広い視野で議論ができるとよいと思います。

○事務局：来年度の会議の際には、事業計画を提示するようにいたします。

以上